

総務建設産業

コミュニティバス 実証運行がスタート

◇須恵町コミュニティバスに、「コミュニティバス」に名称を改め、路線と時間帯を一部変更しての実証運行が2月1日にスタートします。

現在、運行中の福祉バスの用途を拡大するため



実証運行が始まる「コミュニティバス」

なお、4月1日より有料化になります。これに伴い、新しい条例が必要となりました。また、5路線中2路線が「中央駅」という新しいバス停に停車することになり、益々便利になりますが極力、西鉄バスとは重ならないようになっています。

(全員賛成で可決)

止むをえなく 値上げ

◇須恵町上水道給水条例の一部を改正

いよいよ水道料金(特別会計)が、以下の理由により増額改定になります。

- ① 予想を上回る収入減少、大口使用者減少
- ② 減価償却費が、1億6000万円を超える
- ③ 累積赤字が、2億4000万円になる

なお、増加率は家庭用が18・5%、営業用が

19・1%で、平均18・8%となり、県下で中ほどの順位となります。上手な節水等が裏目に出たわけですが、節水が大事なことに変わりはありません。

(全員賛成で可決)

危険を瞬時に キャッチ!

◇全国瞬時警報システム整備工事の施工

自然災害や武力攻撃を最小限にとどめるため、気象庁や内閣官房からの情報を瞬時に伝えるためのシステムが、庁舎無線室に設置されることになりました。(平成22年8月予定)

予算は、771万1000円ですが、全額国庫補助金です。

県を通じて交付されます。

(全員賛成で可決)

下水道工事費 113万円増加

◇下水道工事の契約変更

公共下水道事業、須恵10号汚水幹線3工区(役場庁舎西側) 管渠築造工事請負費が113万2950円増加し、5499



下水道工事の様子

万7950円に変更になりました。

試掘時に埋設物が出てきたこと、地下水位が予定を上回っていたことから、人孔増設および水剤の増加等がその理由です。

(全員賛成で可決)

文教厚生

若杉の森運動公園 野球場芝生観覧席を コンクリートに

若杉の森運動公園の中にある軟式野球場観覧席の整備工事が630万円の子算で施工されます。バックネット裏にある観覧席は、現在、芝生になっています。

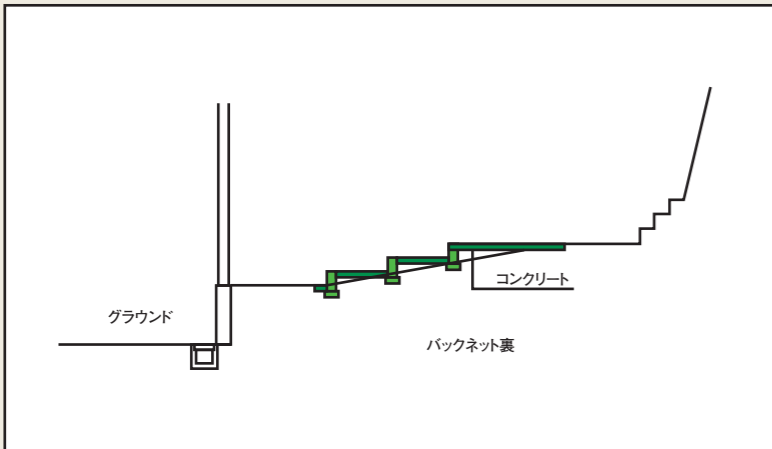
一部テントの屋根はついでいますが、芝がはがれ雨が降る度にグラウンドの中に土砂が入ってきている状態です。

そこで、観覧席をコンクリート打設の階段式にします。

また、観覧席からグラウンドに降りる階段2ヶ所も整備されます。



芝生がはがれ土砂が流れている「観覧席」



観覧席整備「断面図」

「風倒木などを使い、人にやさしいベンチにしては」との意見もありましたが、雨が降り込んで傷みやすいためにコンクリート打設になりました。

自然に調和するように、

グリーン塗装をします。工事長は、128メートル。観覧席整備工360平方メートル。階段整備工2ヶ所の工事量となります。

(全員賛成で可決)



若杉の森運動公園「野球場」